学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①　学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

本学医学部医学科において、地域枠で募集人員が増加した平成２１年度入試以前から令和８年度入試に至るまでの志願者数はおおむね600名以上､志願倍率は５．５倍以上となっており、定員の充足は可能だと考える。

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

琉球大学医学部医学科の志願者数・倍率の推移

年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
志願者数	882	616	766	725	1148	899	866	569
志願倍率	7.9	5.5	6.8	6.5	10.3	8.0	7.8	5.2
充足率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

②　学生確保に向けた具体的な取組状況

上記①のとおり、学生の確保は可能と考える。また、特に「地域枠学生」の確保に向けて県内高等学校に対する以下の取組を実施している。

・ 高校生を対象としたオープンキャンパスを実施し、琉球大学医学部のアドミッションポリシー、医学部カリキュラム、教育・研究・診療環境を説明し、地域医療教育の説明、専門医になるための紹介や進路相談等まで、さまざまな説明・相談に応じている。

・ 高校生や保護者、高校・予備校の関係者を対象とした地域枠制度説明会を毎年開催し、地域枠制度の特色、入試概要、卒業後の進路等に関する説明や地域枠学生による学生生活の紹介を行っている。

・ 年１回、県内高等学校長等と本学との間で沖縄県高等学校長協会連絡協議会を開催し、意見交換を行い、優秀な学生の受験を呼びかけている。

・ 県内高校の希望を受け、入試説明会を行っている。

（２）人材需要の動向等社会の要請

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

島嶼環境における沖縄県では、医師の不足や専門医の地域偏在化が深刻な健康・生活問題となっている。

この問題に、島嶼環境に即応した離島・へき地医療人を育成し、地域医療とその担い手を守り、沖縄県民の医療に対する不安を解消することを目指す。

島嶼環境にある沖縄県では、離島を中心とした医師不足や、都市部への専門医の集中がみられ、離島やへき地での健康的な住民生活の維持に大きな影響が及んでいる。

この問題に対して、島嶼環境での医療にも対応可能な人材を育成することで地域医療を守り、県内の医療に対する沖縄県民の不安を解消することを目指す。